

10/14 うずらの遺産ツーリズムを開催



▲機銃座跡でガイドによる説明を聞く参加者ら

うずらの遺産ツーリズム推進協議会（会長 為平浩一）は、鷲野飛行場跡周辺で、うずらの遺産ツーリズムを開催しました。ボランティアガイドの案内で爆弾庫跡、機銃座跡、巨大防空壕などの定点へウォーキングを行いました。各定点では、ツーリズムに応募したガイド隊が、遺構のガイド案内を実施。参加者から、「継続開催してほしい。」などの声をいただきました。

10/14 第11回北条鉄道まつり



▲ミニSLの乗車を楽しむ親子たち

北条鉄道各駅で、「第11回北条鉄道まつり」が開催されました。鉄道グッズなどの販売や、ボランティア駅長らによる切り絵教室などでにぎわいました。中でも播磨横田駅前農村公園内をぐるりと運行するミニSLやミニ新幹線は、子どもたちから大人気。計166人が乗車しました。秋晴れのもと、たくさんの親子が小さな列車旅行を楽しみました。

10/20 宮前町の新しい屋台がお披露目



▲玉木区長をはじめ、宮前町屋台の関係者ら

北条町宮前（区長玉木正光）は、来年4月の節句祭りに向けて、化粧屋台を購入し、区民のみなさんへのお披露目の式典を住吉神社で実施しました。式典では、来賓を代表して総代会会長および氏子区長会会長から「屋台は町の誇りである。お祭りに屋台を奉納することで、町が団結していく。屋台を中心に町の活性化につなげてほしい。」と激励の言葉がありました。

10/23 堀井さんにさわやか市民賞



▲堀井大實（中央）さんを囲んで、ご家族と西村市長

加西市は、芸術の分野で優秀な成績を収めた堀井大實さん（九会小学校5年、網引町）に「さわやか市民賞」を贈呈しました。

堀井さんは、8月に行われた「アートフェスティバル2018」で文部科学大臣賞を受賞。堀井さんの作品は、一版多色の木版画で、思い出が詰まったランドセルや教室の様子が丁寧に描かれています。

11/10 気球安全祈願祭を執り行いました。



▲今シーズンの飛行の安全を祈願する関係者ら

11月10日(土)より気球の飛行シーズンが始まりました。辺りが薄暗い日の出前より、市長も参加し、パイロットや気球関係者らが安全祈願祭を執り行い、今シーズン(2019年5月上旬まで)の安全を祈りました。加西市は、県内で気球の飛ぶ唯一のエリアです。風の穏やかな早朝の空に気球を見つけると、わくわくする一日がスタートします。

11/11 ふるさと加西への愛着と誇りを育む



▲来年の再会を約束して記念撮影

東京を中心に、関東在住の加西市出身の方やゆかりのある方が集う「東京加西会」が、KKRホテル東京で開催されました。郷土の発展に寄与することを目的とした会で、今回は記念すべき30回目の開催です。竹本進一会長が「故郷に思いを寄せて、語り合いましょう」とあいさつ。集まった会員らは1年ぶりの再会を喜び、ふるさと談議に花を咲かせました。

11/11 人権フィールドワーク



▲皮革工場を見学する参加者ら

加西市人権教育協議会では、たつの市皮革工場を訪問するフィールドワークを実施しました。参加者21人は、皮革工場経営者の吉田健男さんの説明で工場見学をした後、レザーでペンケースの製作体験をしました。参加者からは、「革ができるまでがよく分かった。世界で一つのペンケースも作れて良かった」との声があり、皮革業について学ぶ機会となりました。

11/14 今年もハクチョウが飛来しました。



▲ハクチョウ飛来の様子(上宮木町) 撮影:宮本博文氏

約4,000kmにも渡る長旅を終え、今年も加西のため池にハクチョウが飛来してきました。ハクチョウは、湿地や浅い水辺で水草の葉や根が確保でき、外敵の少ない場所で生活をします。多い時で30羽を超えるハクチョウを見ることができます。餌を与えたり、フラッシュ撮影やむやみに近づくなどの行為は控え、優しく見守ってあげてください。